

マーケットの動き (2023年11月20日～11月24日)

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円でほぼ横ばいでした。

前週に米国のインフレ鈍化を示す経済指標の発表が相次ぎ、米国で利上げ局面が終わったとの見方から円買い・ドル売りが続きました。その後、米景気の底堅さを示す経済指標を受けて米国で根強いインフレ圧力が続くとの見方が意識され、円安・ドル高に転じましたが、24日は感謝祭の翌日のため売買が低調で、ほぼ横ばいで週を終えました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルともに上昇しました。

投資環境見通し (2023年11月)

円に対して米ドルはレンジ内での動き、ユーロは弱含む

米ドル：日米の景気や金融政策の違いは米ドルの上昇要因とみられますが、日本政府・日銀による円買い介入に対する根強い警戒感に加え、日銀の金融政策正常化を巡る材料も注目される中、米ドルは円に対してレンジ内で推移するとみています。

ユーロ：ユーロ圏長期金利に対する低下圧力を背景に、ユーロは円に対して弱含むとみています。また、日本政府・日銀による円買い介入が警戒される場面では、ユーロは円に対してさらに下押す可能性もあるとみています。

	11月24日	変動幅 (円)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	149.51	▲0.07	▲0.37	10.51	11.13
ユーロ/円	163.56	0.71	4.71	13.96	19.52

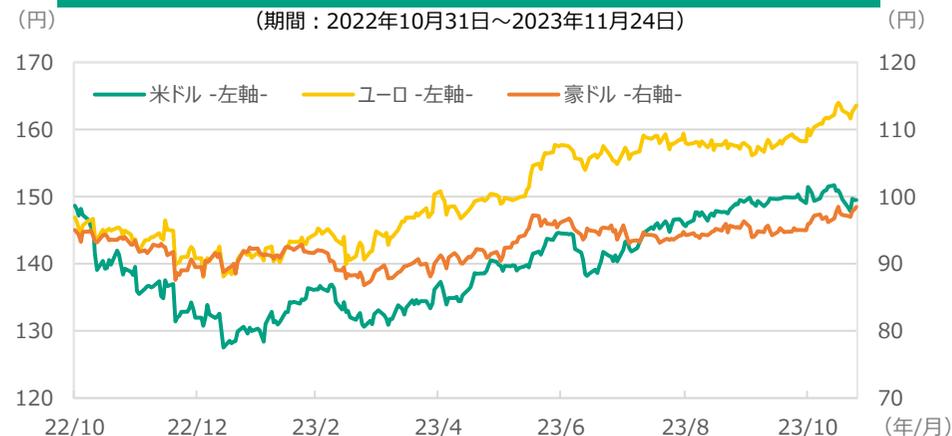
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202311_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移 (対日本円)



為替レートの推移 (対米ドル)



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成